

こうふ町 議会だより

希望の春に学園生活がスタート(^o^)

4年度予算

予算の審議5P~7P
参考意見8P~10P

一般質問11P~13P
陳情・意見書等14P
組合議会報告15P

議会のことをわかりやすくお伝えします

江府町のSDGs・DXで一人も取り残さない予算編成

令和4年度予算、一般会計40億2000万円 前年比109.2%

(単位：万円)

項目	令和4年度	令和3年度	増減	説明
地方交付税	15億4,500万円	13億2,290万円	2億2,210万円	国からの交付金
町税	7億663万円	6億9,725万円	938万円	企業、町民からの税金
県支出金	4億3,842万円	3億9,974万円	3,867万円	使用が特定された交付金
町債	2億8,740万円	3億8,310万円	△9,570万円	町の借金
国庫支出金	2億8,887万円	2億4,108万円	4,779万円	使用が特定された交付金
繰入金	2億1,387万円	2億6,146万円	△4,758万円	基金からの繰入金
その他	5億3,981万円	3億7,747万円	1億6,234万円	ふるさと納税 他
合計	40億2,000万円	36億8,300万円	3億3,700万円	
歳入				
人件費	7億4,873万円	7億357万円	4,526万円	職員、議員の給与
補助費等	7億518万円	6億2,951万円	7,567万円	三町衛生施設組合等補助金
物件費	9億9,893万円	7億1,255万円	2億8,638万円	業務委託料、賃金、備品等
公債費	4億1,191万円	3億9,638万円	1,553万円	町の借金返済
繰出金	3億1,686万円	3億1,309万円	367万円	特別会計へ繰り出す金額
建設事業費	2億4,209万円	2億3,486万円	723万円	旧庁舎、高齢者創作館解体等
扶助費	2億5,264万円	2億4,616万円	648万円	生活保護、児童手当等
維持補修費	1億9,406万円	2億1,033万円	△1,627万円	除雪委託等
その他	1億4,960万円	2億3,655万円	△8,695万円	
合計	40億2,000万円	36億8,300万円	3億3,700万円	
歳出				
人件費	7億4,873万円	7億357万円	4,526万円	職員、議員の給与
補助費等	7億518万円	6億2,951万円	7,567万円	三町衛生施設組合等補助金
物件費	9億9,893万円	7億1,255万円	2億8,638万円	業務委託料、賃金、備品等
公債費	4億1,191万円	3億9,638万円	1,553万円	町の借金返済
繰出金	3億1,686万円	3億1,309万円	367万円	特別会計へ繰り出す金額
建設事業費	2億4,209万円	2億3,486万円	723万円	旧庁舎、高齢者創作館解体等
扶助費	2億5,264万円	2億4,616万円	648万円	生活保護、児童手当等
維持補修費	1億9,406万円	2億1,033万円	△1,627万円	除雪委託等
その他	1億4,960万円	2億3,655万円	△8,695万円	
合計	40億2,000万円	36億8,300万円	3億3,700万円	

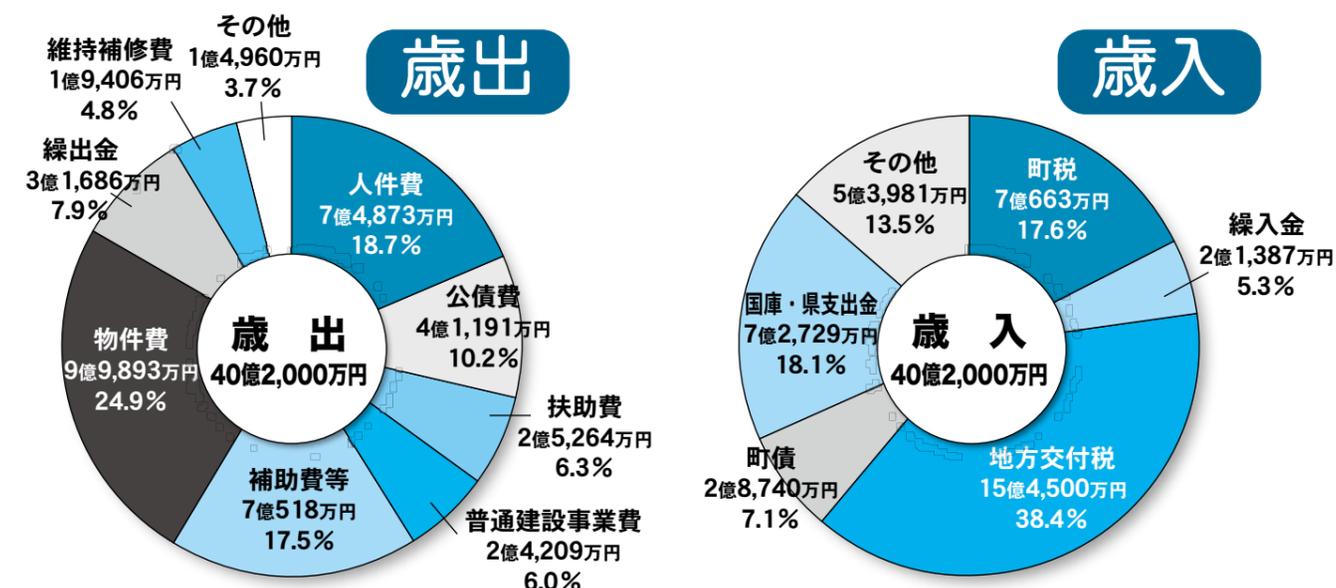
令和4年3月定例会は、3月7日から25日までの17日間の日程で開催され、本年度の一般会計及び特別会計・条例改正等37議案について慎重審議し、原案通り可決した。

本年は、佐川地区に計画されている移住・定住促進事業実施を始め、国の打ち出した「アフターコロナ」を見据えたデジタル化・地方創生を念頭に、誰一人取り残さないSDGs（持続可能な開発目標）並びにDX（デジタルトランスフォーメーション）を基本とする予算となった。

また、昨年度から急伸しているふるさと納税の関連事業や、今年度から開校する義務教育学校関連事業、旧庁舎・高齢者創作館の解体等、新たな事業が実施される。

一般会計 令和4年度予算主なもの

移住促進住宅等整備事業 7,200万円	ふるさと納税推進事業 1億5,000万円	旧庁舎・創作館解体事業 8,361万円
集落営農体制強化支援事業 1,775万円	DX推進事業 420万円	町営交通対策事業 9,060万円
森林環境税関連事業 1,127万円	有害鳥獣駆逐事業 2,390万円	町内道路舗装修繕 7,970万円
図書館運営費 2,790万円	学校情報通信技術環境整備事業 1,568万円	



特別会計 (11会計) 公営企業会計 (2会計)

- ・介護老人保健施設（あやめ）においては、昇降装置や館内の照明を健全化し、安心・安全がより向上することとなった。引き続き町内外の、利用者の健康について貢献する様期待したい。
- ・簡易水道事業は、町民の命の源となる水を町民誰もが、何時でも安心して利用できる様、施設の更新や点検に努められたい。
- ・下水道事業においては、全町民が衛生環境向上の利益を享受するよう事業の普及や充実に努められたい。

特別会計	令和4年度	令和3年度	増減額	繰入金
住宅新築資金貸付事業	138万円	157万円	△19万円	
国民健康保険（事業勘定）	3億5,892万円	3億6,180万円	△288万円	2,474万円
国民健康保険（施設勘定）	2億3,607万円	2億3,212万円	395万円	6,544万円
介護保険事業（保険事業勘定）	5億9,360万円	6億2,591万円	△3,231万円	1億4万円
介護保険事業（サービス事業勘定）	293万円	245万円	48万円	
介護老人保健施設	1億1,155万円	6,363万円	4,792万円	6,825万円
後期高齢者医療	5,606万円	5,047万円	559万円	1,905万円
索道事業	2,054万円	2,472万円	△418万円	2,054万円
江尾財産区	230万円	225万円	5万円	
神奈川財産区	166万円	165万円	1万円	
米沢財産区	430万円	263万円	167万円	
合計	13億8,931万円	13億6,920万円	2,011万円	2億9,806万円

公営企業会計	令和4年度	令和3年度	増減額	繰入金
簡易水道事業				
収益的収入	7,554万円	8,011万円	△457万円	2,899万円
収益的支出	1億1,521万円	1億1,623万円	△102万円	
資本的収入	1億8,416万円	9,441万円	8,975万円	5,017万円
資本的支出	2億103万円	1億1,278万円	8,825万円	
下水道等事業				
収益的収入	1億7,412万円	1億6,244万円	1,168万円	7,808万円
収益的支出	1億8,716万円	1億9,685万円	△969万円	
資本的収入	1億2,915万円	1億3,780万円	△865万円	5,785万円
資本的支出	1億6,926万円	1億7,128万円	△202万円	

一般会計

予算の審議

役場のすべての課及び
出納室・農業委員会・議
会事務局の予算について
質疑応答がなされました。

総務課

- Q 武庫駅トイレの改修予定については？
- A 今後、障がいのある方も使いやすいように改修の予定です。
- Q 武庫ミニライスカンター（ミニライスカンター）の駐輪場についてなぜ撤去予定か？
- A 町営住宅の駐輪場借地契約の更新に伴い実施します。



ミニライスカンター駐輪場

- Q 公共用地敷地の借り上げ料について見直しの状況は？
- A 契約更新時に交渉を行っています。
- Q 各旧小学校の光熱水費の負担は？
- A 基本料金は、町が負担し、超過分に対しては利用者が負担しています。

- Q 旧米原分校の指定管理について？
- A 令和4年から、指定管理者に「奥大山Xスポーツ協議会」に決定しました。
- Q せせらぎ公園の桜の木の管理について？
- A 今後、公園の利用計画及び管理計画を策定し、景観や安全に配慮し、適切に処置します。

- Q 江府町消防団の団員数が減っているようだが、対策はあるのか？
- A 団員数が増えるよう、引き続き勧誘します。



消防出初式

- Q 各集落の消火栓の取替状況は？
- A 順次点検等や集落からの報告を受け、緊急性の高いものから取替を行っています。
- Q 江府町消防署の移転先の用地買収については？
- A 現在地が土砂災害特別警戒区域にかかることと、老朽化のため、移転先予定地

- Q 町内の危険ブロック塀撤去については？
- A 倒壊する恐れがある箇所については、調査（経過観察）し、所有者と協議して対応していきます。

について町が用地を求め交渉しています。最終的には、西部広域行政管理組合の手続きを経て正式決定します。

に引き続き勧誘します。

住民生活課

Q 地域おこし協力隊だけではなく、関係人口の最たるもの「おてつたび」等も活用してみては？

A インターン制度がまさにそれです。取り組みにより、関係人口の創出に努めていきます。

※「おてつたび」とは……旅行者が行き先々のお手伝いをしながら旅をする。

Q 佐川の移住促進住宅の計画について？

A 今後、公募して事業者を決定し、事業を進めていきます。



佐川地区移住促進住宅計画用地

特別会計

住宅新築資金貸付事業

Q 住宅新築資金等貸付事業は教育課が担当するのは、不適当ではないか？

A これまで、どこが担当するのか検討していませんが、鳥取県西部の自治体では、統一されており、さまざまの課で行っています。

国民健康保険(事業勘定)

Q 令和3年度に比べ令和4年度は納付金下がっているが要因は？

A 納付金は前々年度の医療費実績で決定します。令和2年度は、全国的にみて、コロナ禍による受診控えがあり下がったと考えられます。



元気な高齢者

Q マイナンバーカード普及のPRについて？

A 今後メリット等を含めたPRに努めます。

Q 民生委員の充足状況について？

A 現在は欠員はありません。皆さんで業務改善についての審議、民生委員会だよりの業務についても積極的に取り組んでいただいています。

Q 障害者福祉費の扶助費の500万円増の中身は？

A 介護給付費・訓練等給付費の報酬が令和3年度に改訂となり、実績に基づき予算要求をしたためです。

Q ナラ枯れの最近の状況は？

A 江府町で令和2年度は約6000本で、令和3年度は約810本の被害です。

産業建設課

Q 道の駅管理事業のマルシェスポットライト修繕については？

A 電球33基を換える工事です。

Q 地域おこし協力隊のジビエ

工解体処理技術の伝承に加え加工食品への参入はどうか。差別化が図れると思うが。

A 現段階では解体に専念します。将来的には、研修等によりハムやウインナーの加工技術習得も視野に入れています。

Q 令和3年度見込みの農業公社の経営状況は？

A 運営補助金等を含めて黒字経営の見込みです。

Q 令和3年度のイノシシとシカの数量は？

A イノシシ120頭、シカ77頭。シカは前年に比べ倍以上増えています。

Q 富良野自然塾のインストラクター養成について？

A 候補者は数名います。副

は予約時間通りに受診できた。事務改革の成果ではないか？

A 事務改革、働き方改革は、武地医師の指示で始めたところ。全体的な診察控え、予約時間が分散した事などがあります。バスの時間により、患者さんが集中する時間帯と、余裕のある時間帯も生じています。

Q 診療所の職員の働き方改革を更に進められないか？

A 勤務シフト等を勘案して改善を図ります。

Q 65歳以上の高齢者の困りごと等は、どこに行つて相談したらいいのか？

A 地域包括支援センターにして下さい。すべて出向くことはできませんが、必要に応じて対応します。

介護保険事業

Q 加齢とともに運動機能や認知機能が低下しないような支援の状況は？



ジビエ解体処理施設：今後の加工技術習得にも期待

A 職員を増員し、対応しています。

Q 教育相談室の相談や支援の状況は？

A 令和2年度は来所相談が37名、訪問相談は84名。ほとんどが就学に向けた支援の相談です。

Q 学校が休みの場合のICT教育によるオンライン活用状況は？

A オンラインで授業を見るという事を中学校で行っています。今後休校になっても教材の導入等により、臨機応変な学習が可能になります。

Q 町道橋の現状は？

A 順次、点検を行い、5年ごとに長寿命化計画の見直しを行います。

Q 町道橋の現状は？

A 順次、点検を行い、5年ごとに長寿命化計画の見直しを行います。

教育委員会

Q 未満児保育の職員数の対応は？

Q 児童館・集会所の耐震調査をお願いしたい。

A 地元集会所所長や関係者と相談しながら実施します。

Q 文化財の保護・管理について環境整備も含め実施するべきでは？

A 早急に状況を確認します。



管理された奥大山ゲレンデ

簡易水道事業

Q 有収水率が65%であり35%は漏水等で、収益になっていない。

各施設で有収水率を見て修理しなくてはならず、職員の増加や業者委託をしてはどうか？

A 漏水は重要な問題であり対応を検討します。

索道事業

Q 奥大山スキー場のリフトを維持管理をしているが、スキー場の再開を考えているのか？

A 現時点で再開の予定はありません。ゲレンデを通常で活用できないか検討を進めており、そのために必要な草刈り等、最低限の維持管理を行っています。

※有収水率とは、料金徴収に反映された水のこと。
(生産した水) - (漏水量) = (有収水)

予算特別委員会 参考意見

一般会計

総括

令和4年度の一般会計予算は、40億2,000万円で、前年度比109.2%、金額にして3億3,700万円の増額となっている。主な事業は、佐川地区の住宅等整備事業や旧本庁舎等解体事業、義務教育学校「奥大山江府学園」の開校等が挙げられる。さらに、誰一人取り残さない、(SDGs)を基本理念としたDX構想の事業展開も始められ、本町の将来を左右する重要な事業が実施される年度である。起債残高は、普通会計で45億5,500万円、特別会計、公営企業会計と合わせ、74億9,300万円となるが、これらの財源を利用し、これまでに充実させてきた光ファイバーなどの公共資源を有効に活用した事業展開に努められたい。

総務課

①DX推進事業は、これからの本町の多方面で住民サービスの向上に関わってくる事業である。誰ひとり取り残さない事業推進が重要であり、大きな期待をするものである。迅速で着実な実行に努められたい。

②消防団の存在は、過疎

化・高齢化が進む本町では非常に重要であり、団員の確保には、特段の配慮が必要と考える。

③旧庁舎等解体事業は、速やかに推進され、跡地利用については今後の本町の住民確保に大きく貢献すると考える。早期の事業実施に努力されたい。

④ふるさと納税は、一昨年

度から飛躍的な伸びを示し、財源の乏しい本町には、今後大きな期待と希望を寄せられるものである。今年度から職員体制もより充実され、企業版ふるさと納税の開発など工夫を重ね、さらなる増額を図るとともに、幅広い活用と地元産品の推奨も併せて、促進されるよう努められたい。

住民生活課

①移住促進住宅整備事業は、これからの本町にとって過疎化解消に向けて大いに期待する事業である。移住者の増加のみならず、町民全体にとって、生活環境の向上につながるよう研究・努力されたい。

②小さな拠点事業の推進は、人口減少の進む本町にとっては重要であるが、拠点地区と山間地域とに格差が出ないよう、より利用しやすい公共交通の在り方をさらに検討されたい。



出初式 放水

産業建設課

①商品開発事業は、本町の産業振興に向けて、大変期待されるものである。さらなる研究開発により、商品化を目指して頂きたい。

②スマート農業促進事業など、新規事業が組まれており、農業振興に期待が持てるようになってきたが、農業の現状は、今だに厳しい

ものがある。本町の主産業である農業振興に、さらなる努力をされたい。

③集落営農体制が徐々に整いつつあるが、今後引き続き組織の設立を促進するよう、しっかりとした指導体制の確立に努められたい。

④特定地域づくり事業協同組合の設立準備がスタートした。本町の雇用機会の確保が期待できる。しっかりと

とした研究のもと、早期の設立に向け一層努力されたい。

⑤現在、大きな注目をされている木谷沢渓流を中心とした奥大山地区の観光開発事業が、富良野自然塾をはじめ事業展開されるようになってきた。今後の奥大山観光事業が大きく発展するよう努められたい。

教育委員会

①魅力あるまちづくりには、ふるさと教育は大切である。また、江府町に関心と魅力を感じさせる教育は、担い手育成の基本であり、本町において、ふるさと教育の充実が、最重要課題の一つと考える。さらに、ロシアのウクライナ侵攻により、今、世界的に人権の意識が高まっている。本町においても一人一人の人権が尊重される地域社会づくりを目指す。より一層の人権教育の向上に努められたい。



新しくなった校旗

②学校通信技術整備事業の充実が、現代教育の基本であり、ICT環境の充実により、ライブラリー授業の活用など、へき地環境の是正を図り、本町児童・生徒の教育環境の向上を図るよう、さらなる努力を求めたい。

③保育園については、施設の老朽化や危険地域の環境など、早期の移転が望まれていたが、新年度に検討委員会を立ち上げる事となった。については、早期の移転と、希望の持てる保育園建設に向けて検討されたい。



今年も始まった農作業

予算特別委員会 参考意見

住宅新築資金 貸付事業

滞納金が約900万円から約370万円と大幅に減少している。これは関係者の努力の結果である。引き続き滞納者と連絡を取り合い徴収に務められたい。

国民健康保険 (事業勘定)

一般被保険者医療給付費分が増加傾向にあるが、コロナ禍や人口の減少により県への納付金の支払いのための財源として基金の取り崩しが

見込まれる。健康診断等の充実により医療費抑制対策をさらに進められたい。

国民健康保険 (施設勘定)

日野郡として医療を進めるために、江尾診療所と日野病院が連係を密にして医療に当たられたい。今後に於いて武地医師の後継の問題や所内職員の働き方改革が急務である。診療所での、待ち時間が課題であったが、現在は職員の努力や町営バスの改正により改善傾向にある。重ねて努力されたい。

介護保険事業 (保険事業勘定)

安心ホットライン事業と命を守るスマホは別なものと思われるが、今後統一できるように進め、高齢者の安全安心の一助とされたい。介護予防普及啓発事業等により、要支援・要介護状態になることを未然に防止できる様、一層努力されたい。

介護老人保健施設

LED照明改修工事や備品の更新充実に向け、相当額の予算を計上して進めている。施設の快適性・安全性の向上や長寿命化を期待する。一方で入所希望者が長期間待機する状況が続いている。早急に受け入れ体制の改善をされたい。

簡易水道事業

現在漏水等のため有収水率が65%となっている。各施設で有収水率を調査し、要因を確定するため、水道職員の増加や業者委託等、給水効率の向上に務められたい。また、深山口地区水源改良事業については、事業内容等を再検討の上、費用の削減について努力されたい。

下水道等事業

操作盤の劣化が行っている。錆が酷いところや針金で結束したところ等、不具合箇所も多数あり、今後の運営に不安が生じる。早期の改善対応を望む。下水道への接続並びに合併浄化槽の設置についても、進捗率を上げるため一層の努力されたい。

特別会計



8時40分の診療所待合室



江尾地区の簡易水道

いかなる時代にも守るべきものが有る！

絆の強い町であり続けるために



川端 登志一



動画で一般質問
川端議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

孤立化対策にスマホの全戸配布を！

質問 コロナ禍で中止となった行事の補填は？

町長答弁 期間が相当経過したものは再実施しないが、新たなものは状況を見ながら実施する。

質問 集团的な社会生活の破綻が懸念される予防策は？

町長答弁 本町の近所付き合いは無くなっているのではない、今まで通り継続されることを考える。

質問 江府町版スマホやリモート通信などDXを活用した孤立化対策の促進は？

その際、ケーブルテレビなどの整備費に比べ、スマホを全戸帯に配布する方が低額で済むと思うが？

町長答弁 スマホの普及を一段と進めたい。現在、町が進めている事業では契約率が想定に対して1割程度なので、支援期間を延長することなど検討したい。また、スマホの全戸配布については、他県では使用されない事例が多くあり、町としては利用に對し意欲的な方を支援する考えを変えたい。

農業支援は多岐にわたるべし

質問 時流に合った農業支援が必要ではないか？

町長答弁 ネット通販の参入方法や農業政策・火山の爆発による将来予測などについて、最新情報を町として迅速に提供してはどうか？

町長答弁 営農応援の交付金については、やる気を持ち続けて頂きたく、スピード感を重視して実施した。情報支援についてはJAに任せたいが、専門的な分野については図書館で関係図書の特集を組むなどしたい。

ゆるぎない人口対策を

質問 江府道路開通による交通量の変化で経済や環境への影響予測は？

町長答弁 大型車の通行はかなり減ると思う、沿線上

にある店舗には何らかの影響はあると思うが今のところ対応は考えていない。

質問 佐川地区は「機能的エリア」として、洲河崎周辺は「静かエリア」として、新住宅団地開発の考えは？

町長答弁 今は、佐川地区に全力投球したい。洲河崎周辺についてはアイデアとして拝聴しておきたい。

質問 新住宅団地以外にも若年世代家族向けのリーススペースは必須ではないか？

町長答弁 子供を遊ばせられるようなリーススペースについては、保育園の移転なども絡ませ休日の使用やエバーランド、せせらぎ公園などの活用も考えたい。

安心安全は何時でも何処でも

質問 町内全域の危険性のある樹木を樹木医



終末期の桜3本
左・中はほとんど花がついていない。



歩道脇で倒れた桜。運良く人身事故に至らず。

など専門家により調査しては？

町長答弁 全部点検は出来ない。具体的な指摘があれば実施する。

質問 ソメイヨシノ桜は比較的樹齡が短いと言われている、今後樹種の変更は？

町長答弁 樹種変更については終末期のもので指摘があれば調査の上検討する。

公共交通・光ファイバー網の今後は？



阿部 朝親



阿部議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

公共交通機関の取り組みは

質問 各種会議が江尾地内や役場で行われており、交通手段を持たない方々は非常に不便を感じていると住民の声を聴いている。町長の公共交通機関についての考えを伺う。

町長答弁

各種会合等が江尾地区に集中していることは、やむを得ないと考える。交通手段を持たない方への対応が公共交通機関の役割とされているが、財政状況を踏まえどう継続していくかという事で令和3年度から町営交通へ運

営形態を変更したところである。

質問 利用についてのヒヤリングやアンケート調査等を行うことは今後の方策に生かされると思うが。

町長答弁

アンケート等を行うことは考えていない。本当に困っている方の声をきちと取り上げていくことが、厳しい財政状況の中でお金を有効に使っていく方法ではないかと思ってい

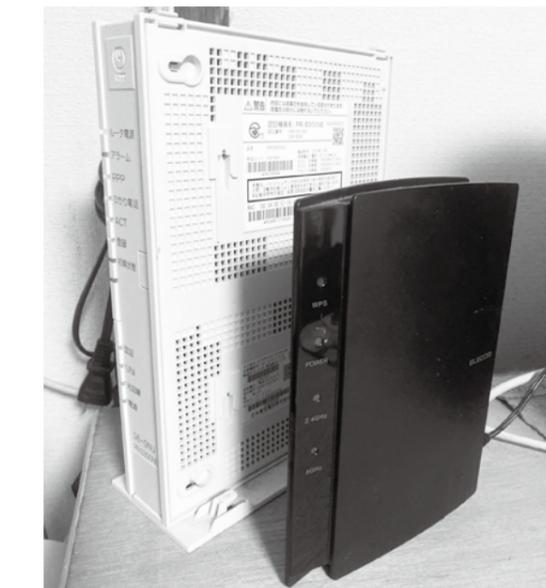
質問 現在小中学校への、バスの乗り入れはされていないが、昨今の交通事故の現状を考えると必要ではないか。

町長答弁

学校への乗り入れは、これ以上の安全な事は無いが、そこまでやる必要があるかという事と、社会通念上、常識の範囲で危険性が無いという前提で行いたい。

光ファイバー網の利用について

質問 町内の光ファイバー網は、平成22年度に約6億円をかけて整備されているが、現状十分に利用されていないと考える。スマートフォンの普及を促すこと、情報伝達には光ファイバー網を有効利用することが先決ではないかと考える。今後の利用について考えを伺う。



ホームゲートウェイと無線ルーター

町長答弁 当初の目的はあったかもしれないが、光ファイバーでのインターネットの普及率は55%で、まだ全体的には進んでいない。限定的しか活用されていない現状である。将来にわたって活用する構想は持っている。

質問 光ファイバー網は情報通信には十分な能力、スピードがある設備であり、この設備

を利用する事は、町財政を圧迫することなく住民サービスにつながると思うが町長の考えを伺う。

町長答弁

100%の普及を図り、家の中で快適な環境、通信速度で利用するの一番の理想であるが、利用料金の負担がネックになってくると考えている。

各集落の生活環境を格差なく

より充実する施策について

～利用しやすい公共交通機関の開発を～



森田 哲也



森田議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

生活環境の相違は、政策で改善・補正

質問 集落の生活環境は、各集落の置かれた環境により利便性などに相違が生じるが、政策により改善、補正できるものがあると思う。現状をどう捉えているか。

町長答弁

各集落の自然環境、文化、風土が異なり、それぞれ歴史を重ねて来た。各集落いろいろである。良い所は伸ばしていき、手助けが必要なおころを手助けしていきたい。

公共交通のあり方が住民生活を改善

質問 本町は、日野川沿いに公共施設などを集める「小さな拠点づくり構想」を進めているが、この構想には公共交通の充実が、住民の生活環境に大きく影響すると考えるが。

町長答弁

公共交通だけでなく、施設が遠くなることはまだいい方で、無くなることだけは食い止めたい。そのため、公共交通機関は充実させたいが、限られた予算の中でやっていきたい。

公共交通は生活基盤事業

質問 集落間格差をつくらないために、公共交通は重要なポイント。水道や道路などと同じく、住民生活には必要な生活基盤事業。タクシーは高額で利用し難いという意見があるが。

町長答弁

当面は上限1,000円で、また無料券を4枚配布して、2,3人の住民が協力して利用すれば何倍の利用もできる。タクシーの回数券も発行し、利便性の向上に努めている。

タクシーも町内一律同額が可能では

質問 日野町は、タクシーの上限を500円にするための経費150万円を新年度予算に確保。本町も、現在バスは200円で町内同額。タクシーも300円位で町内一律同額が、

少ない経費で可能と考えるが。

町長答弁

利用した分だけ支払うのが一応定額になつてこの辺で切ってしまうという話。一回下げたしまつとも上げることは極めて難しい。とりあえず1,000円でやってみたいと思う。

生活基盤事業の節約は町民全体で

質問 公共交通は生活していくには必需。財政的に節約は求められるが、生活基盤事業の節約が、山間地の町民により大きなし寄せがあるか、そこに集落間格差が出来るか。

町長答弁

節約だけをしているわけではなく、運転できない方については年間48枚の半額券、4枚の無料券を配布している。いきなり500円にすることはできない

が、配慮はしている。

小さい町のメリットを生かす

質問 6,800万円で住宅用地造成事業などを計画。これは新規人口確保に必要な経費だが、本町に住み続けたいと思う政策が、少ない経費で、小さな町だからこそ可能と思うが。

町長答弁

公共交通機関は、当然必要なものと思っている。前回の公共交通会議を受けて、改善する点もいくつかある。いきなり他町のようにではなく、本町なりの考え方で進めていきたい。



タクシーも町内一律同額で

日野病院組合議会報告

- ・病院事業会計の補正予算が可決された。
(新型コロナウイルス感染症医療体制充実等補助金) 49,474千円
- ・在宅介護支援事業会計の補正予算が可決された。
- ・議案以外の報告事項



今後も日野郡の医療体制をできるだけ維持し、かつ充実を図っていくため、日南病院、江尾診療所及び鳥取大学地域医療総合教育研修センターと益々連携していきたい。特に江尾診療所とは医師はじめ各種職種の人事交流について、より具体的に推進していきたい。

日野町江府町日南町衛生施設組合議会報告

(1) 議案第1号 令和3年度日野町江府町日南町衛生施設組合会計補正予算(第3号)

規定の予算総額の変更はなし。
歳出補正の主なものは、

- ・総務費 70千円の減額
- ・衛生費 304千円の減額
- ・予備費 374千円増額する補正予算編成



(2) 議案第2号 令和4年度日野町江府町日南町衛生施設組合会計予算

本年度の歳入歳出予算の総額を190,146千円と定め前年度と比較して1,007千円増額するものである。

主な原因は汚泥再生センター、「清化園」において電気浸透脱水機のドラム再コーティングによるもの。今年度は特に燃料・薬剤等単価が高騰している。汚泥再処理センター及びごみ処理施設の適正な維持管理に重点をおき、構成町の負担軽減を図ることを念頭に十分に精査・検討を行った。

鳥取県西部広域行政管理組合議会報告

令和4年度の予算編成では、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、先行きが見通せない状況ではあるが、公共施設等総合管理計画や令和2年度に策定した施設の個別計画を踏まえ、事業の廃止、縮小に徹底して取り組み、事業の財源確保について改めて各局において主体的に取り組むことにより、令和4年度の市町村負担金については、江府町負担額105,111千円となる。

対前年度比6,075千円 市町村負担金の増となる。

新型コロナ禍における米危機の改善を求める意見書

令和4年度水田活用の直接支払交付金に関する意見書

令和4年度農林水産省予算に係る米政策においては、主食用米の需給安定を図るため、戦略作物助成や産地交付金などの支援を行うことが予定されている。しかし、水田活用の直接支払交付金の適用ルールの見直しや厳格化などにより、主食用米の需給のみならず、飼料用米や大豆、そば、麦などといった転換作物の需給にも影響し、営農計画や地域の農業振興・再生計画の変更が迫られ、農業所得の減少等も懸念される。

このことは、結果的に離農を助長し、農家戸数の減少を招き、農地集積などにも悪影響を及ぼし、耕作放棄地の増大に繋がり、食料の安定供給そのものをも脅かしかねない。また、基幹産業である農業の衰退は、地域そのものの崩壊に繋がるものとの大きな危機感を抱くものである。

については、「水田活用の直接支払交付金」交付対象水田の見直しに関して、地域の実情を十分に考慮し、生産現場の意見も踏まえたうえで、主食用米の需給安定を図り、多面的機能を有する農地を守るための制度運用と財政的な支援を強く要望する。

記

1. 湛水設備(畦畔等)を有し、用水供給設備を有している農地に関しては、令和8年度までに水張りが行われなくとも交付対象水田とすること。
2. 戦略作物等の本作化に向け取り組んだために交付対象水田とならなかった農地及び水田活用の直接支払交付金の適用ルール厳格化により除外された農地に関しては、別途、財政的支援を設けること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年3月25日

鳥取県日野郡江府町議会

陳情の審査結果

提出のあった陳情は、3月定例議会で審査した結果、下記のとおり決定しました。

件名	提出者	審議結果
(陳情第1号) 国に対して「保育所等の最低基準(職員配置)と、保育士の処遇の抜本的な改善を求める」意見書	鳥取の保育を考える会 会長 石井 由香利	採択 (全員一致)
(陳情第2号) 「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	鳥取県労働組合総連合 議長 田中 暁	趣旨採択 (全員一致)

私のひとこと



久連 川上 剛司

「開校!!」

2022年4月奥大江山江府学園開校！わが町江府町は西部地区初めての義務教育学校になりました。私はこの学園でPTA会長という大役を受けました。自分の中で家庭や仕事がある中で自分で良いのか、両立できるのか葛藤はありましたが、何年か前に小学校PTA会長をした経験から受けさせていただきました。そこには今まで知らなかつた繋がり、先生方や地域の皆様とのかわりを知り、色々な不満の声があると噂があるPTA組織もまだまだすてたもんじゃない、むしろ素敵でワクワクできる団体だと知れたことも大きいでしょう。コミュニケーションルや関係各所、様々なところで日々子どもたちのため、学校運営の

ためにご尽力いただいている姿を間近で見たり、共に参加させてもらい、自分の力不足も痛感させられました。同時にこんななたくさんの方が取り組まれていて学校が運営されていることに感銘を受けました。

PTAは子どものために活動していく団体だと思っています。この活動の中でなができるか、なにが子どもたちのためになつていくのかしっかり考え、同時に親も学校も楽しくできる環境にしていけるよう頑張ります。自分事ですが、我が家の末っ子も今年ピッカピカの1年生として入学しました。毎日頑張つて自分の体より大きな力パンを背負い、一生懸命登校し、勉強に遊びに励んでいます。そんな頑張る姿に負けないよう、私もピッカピカの奥大江山江府学園初代会長として精一杯励んでまいります。そしてもつと江府町を好きになり誇りをもってもらい、子どもからPTAから学校、そして江府町を盛り上げていきますので、よろしく願います。



地域プロジェクトマネージャー
光島 宏美

江府町って素敵

こんにちは、岡山市出身のkoushimaです。この春、江府町と御縁をいただき小学生2人と元ジャングルガイドのマレーシア原住民の夫（マックス）と移住してきました。4月から役場のSDGs（エスディーズ）担当として教育課で勤務させて頂いています。

毎日、役場から見える大山さんの姿に感激し、豊かな水を育む自然に癒されています。青年海外協力隊としてマレーシアで地域リハビリをしていた時には、ジャングルの村を転々としながら、ワニのいる川で水浴びするような生活をしていたので、江府町の便利さにも日々感動しています。岡山県新庄村にも住んでいました。約千人の村民ほぼ全員と知り合いになり、デイサービスで作業療法士をする傍ら、伝統継承のため4世代にわたる民謡民舞グ

ループを立ち上げ、私も踊り手として新庄田植え唄やドジョウ掬いなどを公演してきました。江府町の歴史や神楽にも大変興味がありますので、是非声をかけてください。

引っ越し早々、家の電気がつかないことがありました。その際に江府町の皆様が親身になって心配してくださる姿に、「来て間もない私たちが想つて下さる心がありがたいなあ、江府町って素敵」と家族で話しました。

SDGsは、「世界のすべての人が取り残されずに、安心安全な人間らしい暮らしが出来ること、地球に住み続けられるような環境問題も解決・改善すること」を目指しています。目標は大きく感じられますが、江府町で、皆様がすでに取り組んでおられる活動もSDGsと繋がっています。まずは、一人でも多くの町民の方々と知り合いになり、色々と教えて頂きたいと思つています。江府町がより楽しい場所になるようなお手伝いができるといいなと思つています。何とぞよろしくお願います。



新年度予算が成立し、江府町立奥大江山江府学園も産声を上げました。1年生から5年生はブナの森校舎（旧小学校）・6年生から9年生は日野川校舎（旧中学校）へ。新6・7年生の新しい制服で通学している所を見ると、こちらが来ました。SDGs・DX、ICT等々、理解するには厳しいものがありますが、時代に遅れないようにしたいものです。コロナは、変異を繰り返す、第5波・6波と衰える様子はなく、更にマスクを始め手指消毒等に努め感染を防ぎましょう。

阿部 朝親

広報公聴常任委員会

- 委員長 三輪 英男
- 副委員長 川端登志一
- 委員 阿部 朝親
- 委員 芦立 喜男
- 委員 加藤 周二

お知らせ

議会日より196号の佐川集合住宅のカビ発生等については、既にリフォーム済であり、快適な住環境となつておりますのでお知らせ致します。

右の通り訂正致します。関係者の皆様にご迷惑をかけた深くお詫び申し上げます。

広報公聴常任委員会 同